

令和6年度 自己評価結果

学校法人 なんば学園 日本橋幼稚園

1. 教育目標

ひとり一人の個性を大切にし、「あかるく すなおで すこやかに」に過ごせる
ようさまざまな活動を経験し、たくましい身体と豊かな表現力を育てる

- ① 自分から興味関心を持ち、取り組み、考え、工夫し、表現する力を身につける
- ② 集団生活の中で経験する心の葛藤を通して、忍耐力、我慢強さ、時には妥協することもあることを知る
- ③ 生きる力や良いこと、悪いことに自分で気づくことができる力を身につける

2. 今年度の重点的に取り組む目標と計画

本園の教育目標を重視する中で保育内容・環境を見つめ直し、より子どもの育ちに繋げる
とともに、園生活での幼児一人一人の成長を保護者にわかりやすく伝える工夫をする

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目		取組み状況
保育の計画性	B	<ul style="list-style-type: none">・月ごとに季節や行事も関連させながら目標を立て、保育に取り組んでいる・子どもたちが主体的に参加できる活動を考え、週案を作成している・子どもの様子やできること、興味のあることを見ながら計画を見直している・保育日誌は、週初めに園長が目を通し、そのクラスの様子や担任が感じたこと、反省点を共有している・反省や改善点をわかりやすく記録し、誰が見てもわかりやすくまとめる工夫が必要に感じる

保育のあり方 子どもへの対応	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も子ども達と一緒に遊び、活動し、共体験、共感することを大切にする ・認めて、誉めて、励ましてを合言葉に一人一人の子どものよさを認め、意欲を持たせる ・客観的に子どもを見る目を養うように努める
研修及び 資質能 力の向上	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員で、幼児の発達の姿をとらえるための研修を定期的に実施するとともに日々の子どもの姿について話し合う機会を毎日の職員間でもつようにし、自由に意見交換ができる環境をつくる ・バランスのとれた保育を目指して表現活動や教材研究に取り組み日々の保育実践やクラスの実態などについて話し合う
保護者への対応	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の質問や要望に対し、担任だけではなく園全体で話し合い、園の考えを理解していただくとともに、保護者の立場になって考えることを心掛け、担任を中心に園と保護者のかかわりを密にし、強い信頼関係を結ぶ努力を今後も継続していく
防災と 安全管理体制 の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1回の地震火災の避難訓練を行うことができ、子どもたちの意識を高められた ・園庭や園舎内で子どもたちが安心して活動できるような環境を整えられるよう努力している ・日よけを吊るなど、熱中症に十分気を付けながら、子どもたちの活動を存分に実施できたが、外で遊ぶことだけを重視せず、室内でできる体力づくも考えていく ・安全点検票を作り定期的にきちんと点検をし、修繕を計画的に実施すること

4. 総合的な評価結果

B	<p>多様な子どもたちへの対応方法については、学びを深めるなど、より専門的な知識を得ると同時に、教員同士が協力し合う事ができた1年であったと総合的に評価している</p>
---	--

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 今後、取り組むべき課題

- ・教職員の気付きを共有できる場や話しやすい雰囲気づくりなど、更なる教職員同士の連携の在り方を考える
- ・改めて業務の中で削減出来る事、行事の見直しを行う事で、潤いのある日々を送れるようにし、それが子どもたちに良い刺激となって互いに高め合えることを願っている
- ・園の様子をもっと情報公開し、未就園児のおやこ教室や園庭開放・保育室開放などの開催を積極的に行い、地域の方が気軽に園に足を運んでいただけるような環境を引き続き整えていく
- ・今後は、SNSの使用有無も視野に入れ、本園の良さを広めていく努力を行う

6. 学校関係者の意見

子どもの自主的で豊かな創造性を養うことや、集団生活に適応できるように指導することなどに加えて、安心して預けることができる環境の提供が重要である。また年度ごとに重点目標並びに計画を組み立て、先生方が一丸となって、園児たちに関わっているところは、様々な情報発信を通じて取り組み姿勢に共感できる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる